

中期経営計画(2017～2019年度)の基本方針

SMBC Group
Next Stage

新体制の下、
グループ総合力の結集と
構造改革の推進により、
持続的成長を実現

Discipline ディシプリンを重視した事業展開

- 1
- 事業・アセットポートフォリオ、収益構造の質の転換
 - 生産性の向上、効率化の推進

Focus 強みにフォーカスした成長戦略

- 2
- 7つの戦略事業領域へのフォーカス

Integration 持続的成長を支えるグループ・グローバルベースの運営高度化

- 3
- ビジネスポテンシャルを最大化する運営
 - デジタイゼーション
 - ESG

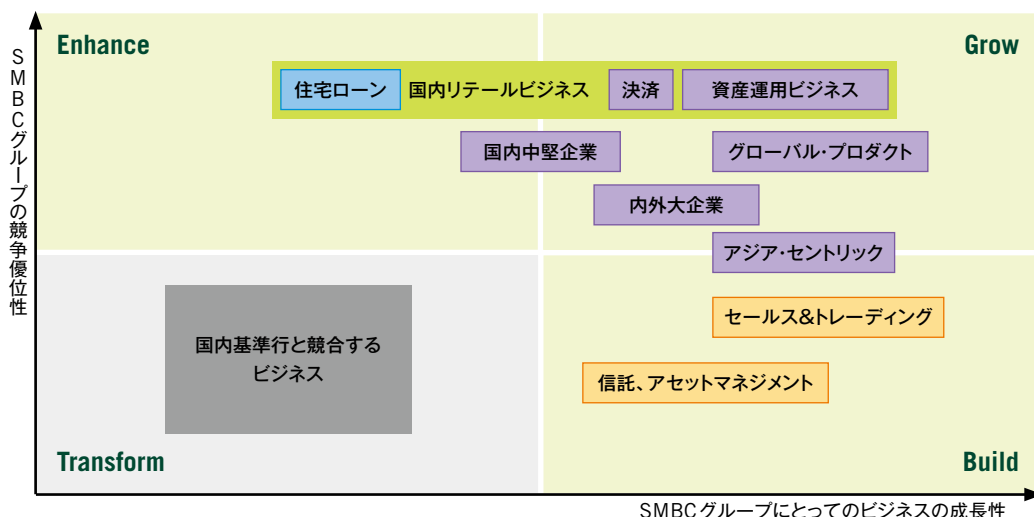
2019年度財務目標

資本効率	ROE	7～8%程度	資本蓄積を進める中で少なくとも7%を確保
経費効率	経費率	2016年度比△1%程度低下	2020年度以降早期に60%程度へ（2016年度62.1%）
健全性	普通株式等Tier1比率*1,2	10%程度	規制強化に対応した資本水準を早期に確保（2016年度末8.3%）

*1 国際金融規制強化の最終的な影響として、リスクアセットが現行完全実施基準対比+25%程度増加する前提

*2 普通株式等Tier1からその他有価証券評価差額金、リスクアセットから株式評価益見合い分を控除

事業ポートフォリオの転換

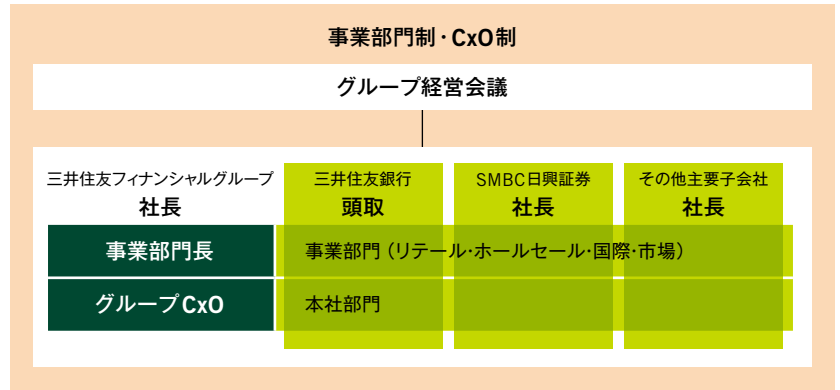
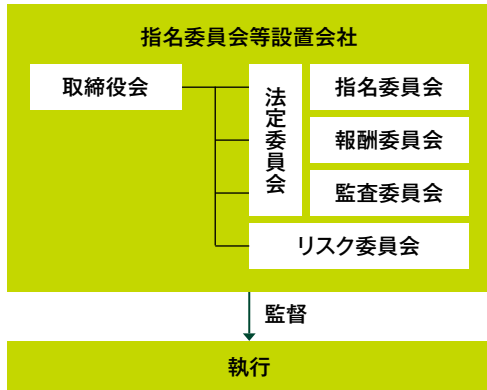


7つの戦略事業領域

コンセプト	戦略事業領域
Enhance 国内事業の基盤強化	1 本邦No.1のリテール金融ビジネスの実現
	2 本邦中堅企業マーケットにおける優位性拡大
	3 内外大企業ビジネスにおけるプレゼンス拡大
Grow 欧米事業の持続的成長 アジアを第二のマザーマーケットに	4 グローバル・プロダクトにおけるトップティア・プレゼンスの確立
	5 アジア・セントリックの進化
Build 将来の成長に向けた新たな強みの構築	6 セールス&トレーディング業務の収益力強化
	7 SMBCグループ独自の付加価値の高い信託・アセットマネジメントビジネスの構築

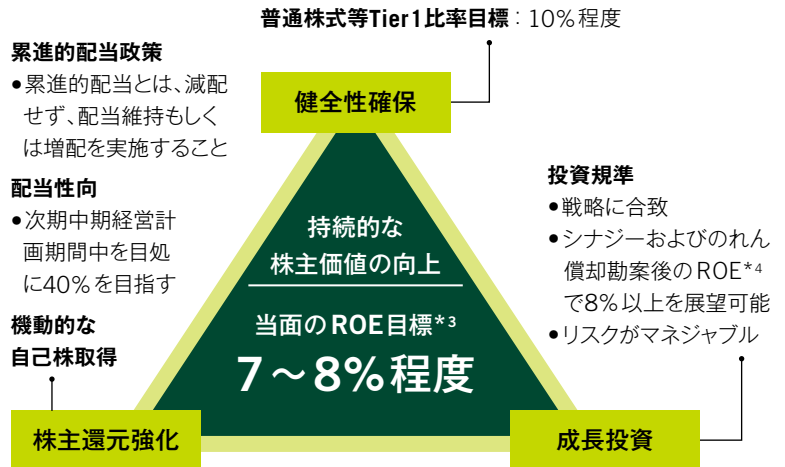
デジタルイノベーション

コーポレートガバナンス体制



資本政策の基本方針 (2018年5月公表)

- 健全性確保、株主還元強化、成長投資をバランスよく実現
- 株主還元は、配当を基本とするが、健全性確保を前提に、自己株取得も機動的に実施
 - 配当は持続的な利益成長を勘案し累進的に行うものとし、配当性向は次期中期経営計画期間中を目処に40%を目指す
 - 自己株取得は、資本の状況、業績動向、当社株価の水準、成長投資機会、資本効率向上等を考慮し判断する



*3 株主資本ベース *4 規制強化を踏まえた規制リスクアセットに基づく内部管理ベース